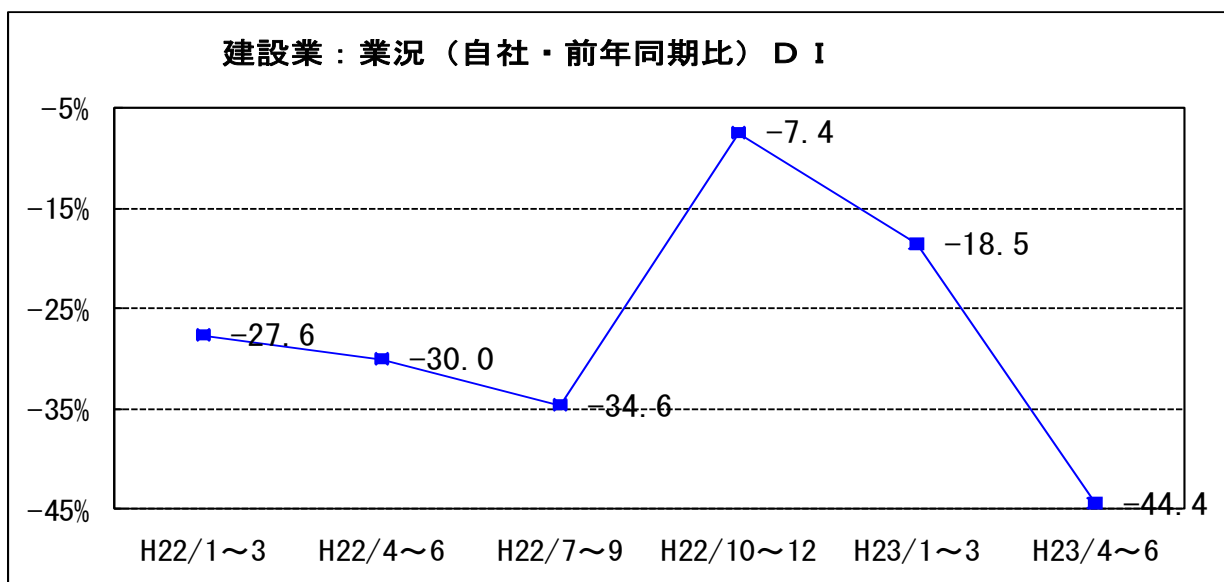


### 3. 建設業の動向

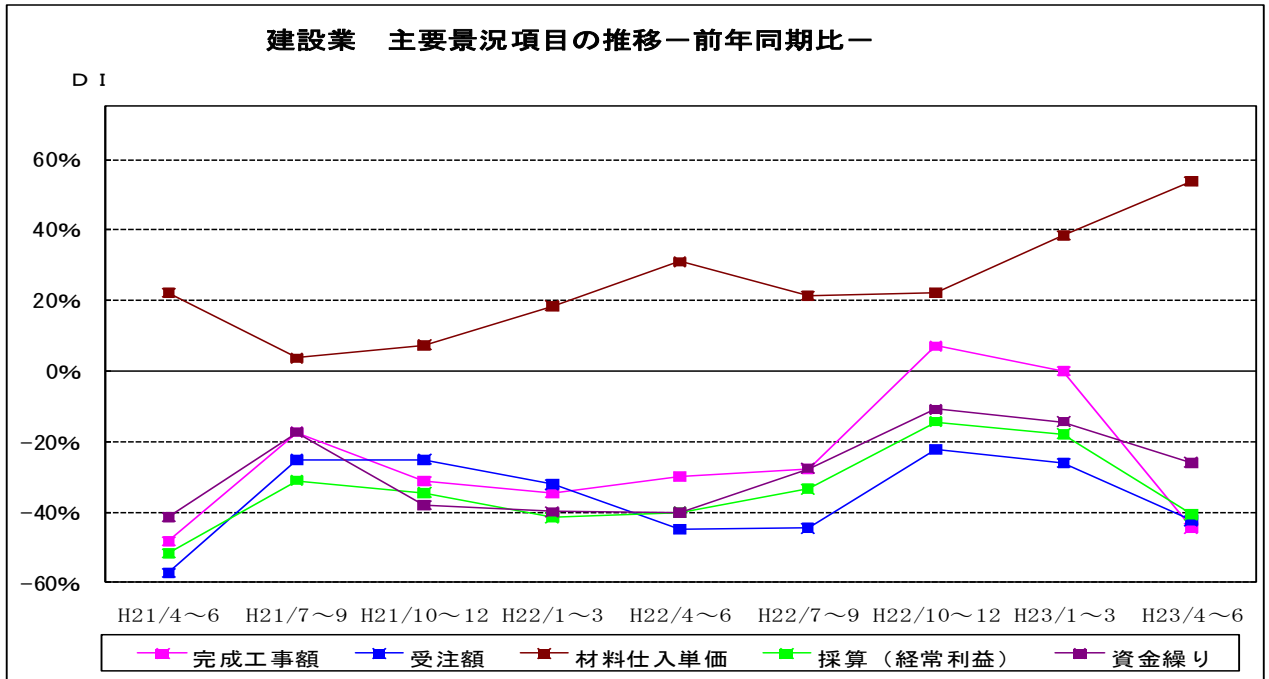
#### (1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、マイナス44.4。前期のマイナス18.5から25.9ポイント下落、大幅な悪化。来期見通しは、マイナス24.0と回復の見込み。



建設業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

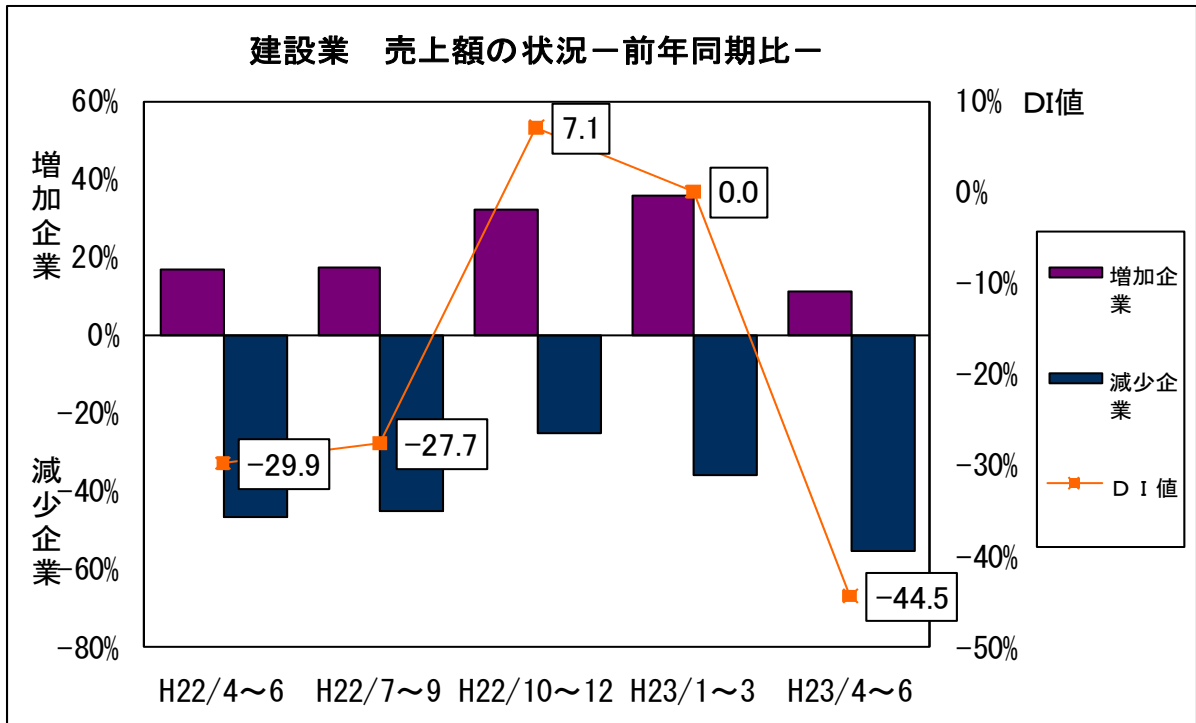
	前々期 (22年10月~12月)	前期(A) (23年1月~3月)	今期(B) (23年4月~6月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
完成工事額	7.1	0.0	▲44.5	▲44.5	▲36.0
受注額	▲22.2	▲26.0	▲42.4	▲16.4	▲37.5
材料仕入単価	22.2	38.5	53.8	15.3	45.8
採算(経常利益)	▲14.3	▲17.8	▲40.7	▲22.9	▲28.0
資金繰り	▲10.8	▲14.3	▲25.9	▲11.6	▲16.0



(2) 主要項目の概況 (前年同期比)

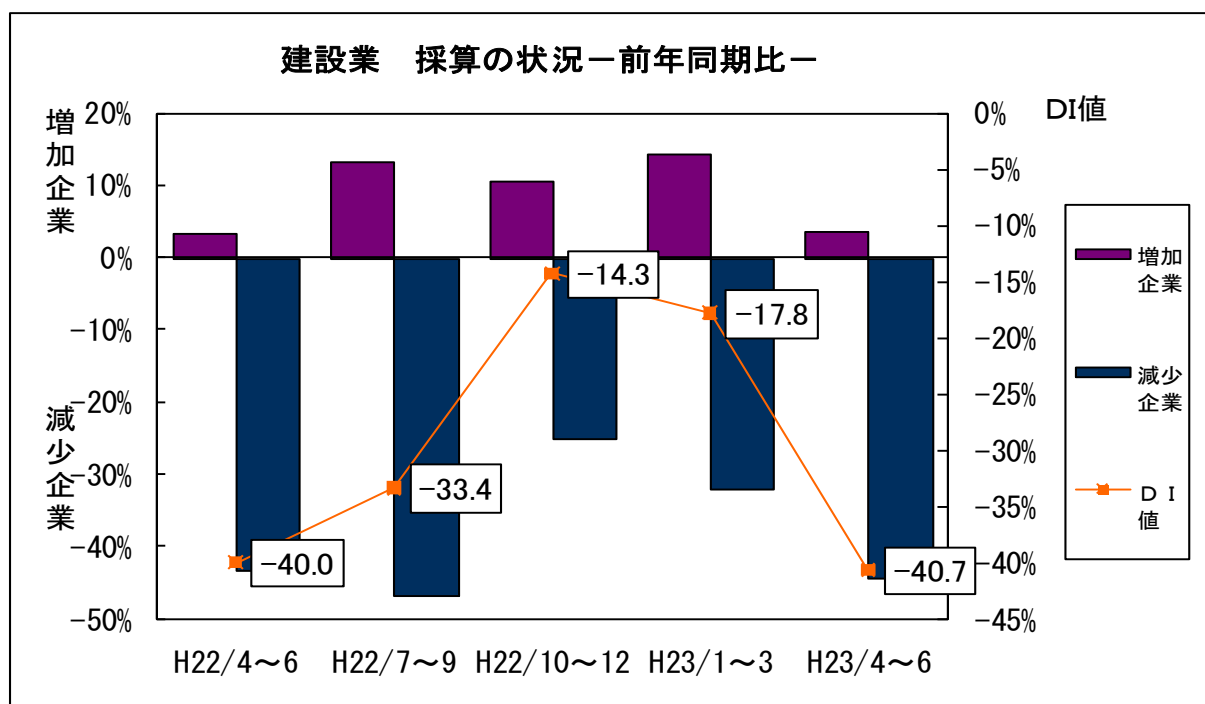
①完成工事額 (前年同期比)

今期の完成工事額D I 値は、マイナス 44.5。前期の 0.0 から 44.5 ポイント下落、悪化。来期はマイナス 36.0 と回復の見込み。



## ②採算（前年同期比）

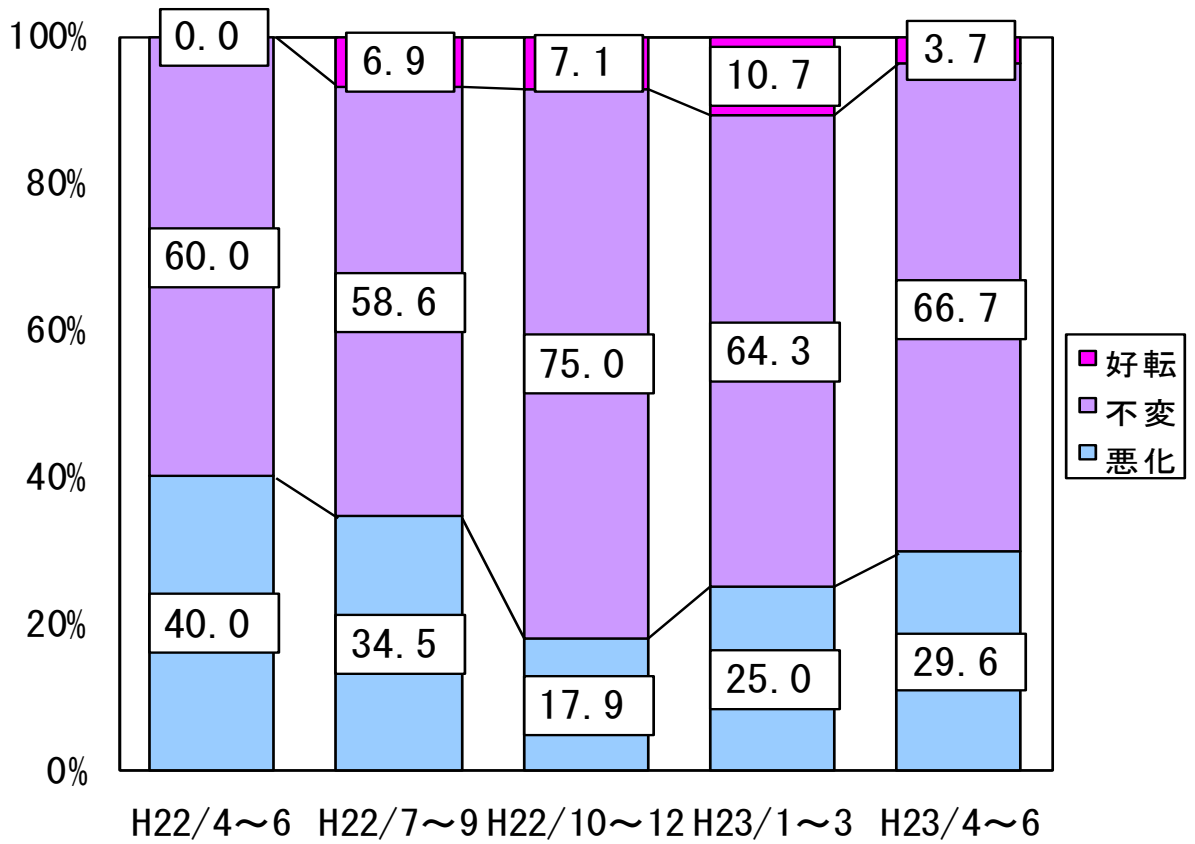
今期の採算D I 値は、マイナス 40.7。前期のマイナス 17.8 から 22.9 ポイント下落、大幅な悪化。来期見通しは、マイナス 28.0 と回復の見込み。



## ③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I 値は、マイナス 25.9。前期のマイナス 14.3 から 11.6 ポイント下落、悪化。来期見通しは、マイナス 16.0 と回復の見込み。

### 建設業の資金繰り（前年同期比）

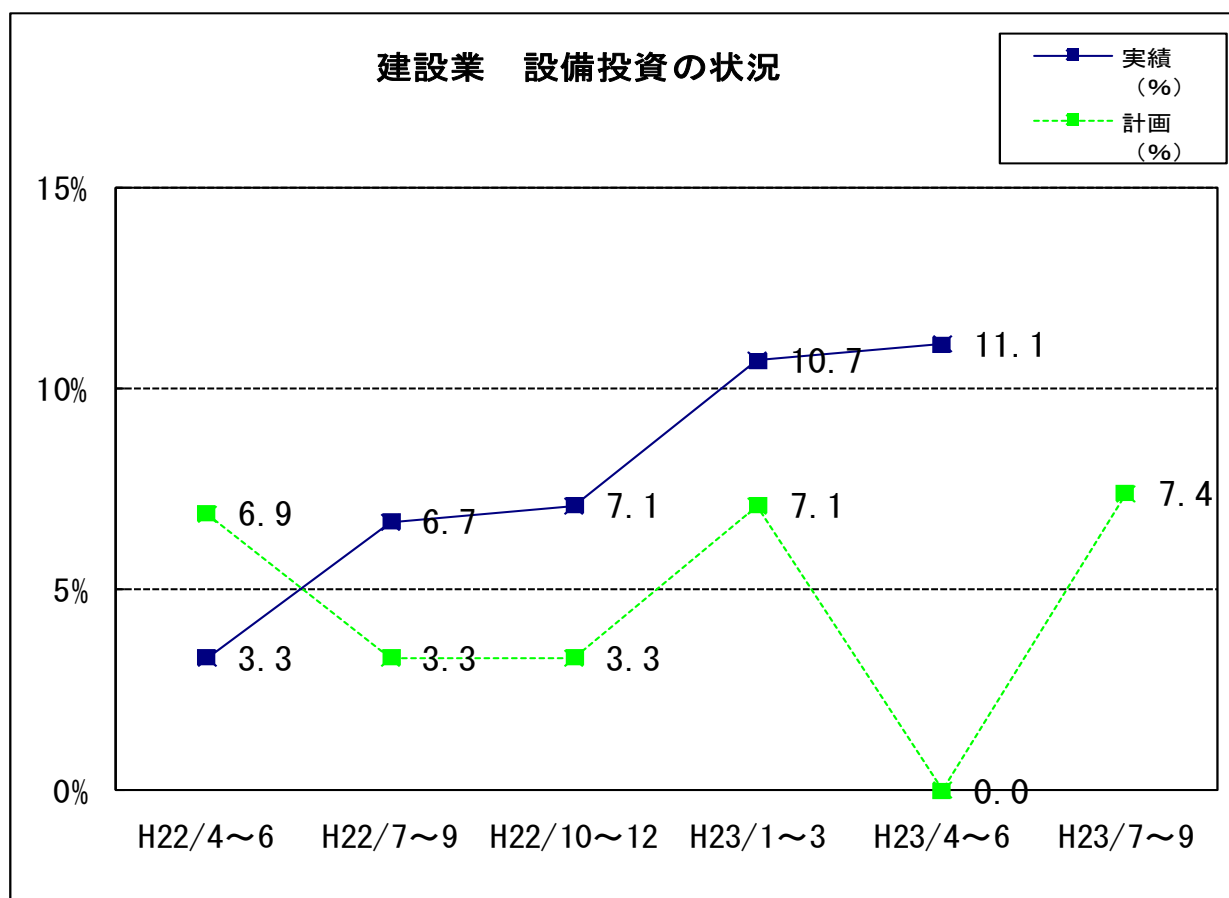


#### ④設備投資

##### 新規設備投資の状況

	あり	投資内容								なし
		土地	建物	建設 機械	車両・ 運搬具	付帯 施設	OA 機器	福利厚 生施設	その他	
前期実施 (実数)	3	0	0	1	1	0	1	0	0	25
(%)	10.7	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	89.3
今期実施 (実数)	3	0	1	0	2	0	1	1	0	24
(%)	11.1	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	88.9
来期計画 (実数)	2	0	0	0	2	0	1	0	0	25
(%)	7.4	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	92.6

今期設備投資を実施した企業は3社（11.7%）。前期（平成23年1～3月期）の実施企業3社（10.7%）と同数で横ばい。来期の設備投資計画は2社（7.4%）となっている。



⑤経営上の問題点

今期、経営上の問題点として建設業が一位～三位にあげる項目は、

- ・ 「民間需要の停滞」 (前期 72.0% → 今期 60.0%)
- ・ 「請負単価の低下、上昇難」 (前期 44.4% → 今期 36.0%)
- ・ 「官公需要の停滞」 (前期 44.0% → 今期 44.0%)
- ・ 「取引条件の悪化」 (前期 28.0% → 今期 28.0%)

となっている。

